



## 2022年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月3日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東  
 コード番号 2910 URL https://www.rockfield.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古塚 孝志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 新部 雅彦 TEL 078-435-2800  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月9日 配当支払開始予定日 2022年1月19日  
 四半期決算説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年4月期第2四半期の連結業績（2021年5月1日～2021年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第2四半期	22,926	10.8	1,075	478.4	1,094	226.5	728	180.4
2021年4月期第2四半期	20,698	△17.6	186	△74.6	335	△56.7	259	△47.0

(注) 包括利益 2022年4月期第2四半期 732百万円 (193.0%) 2021年4月期第2四半期 249百万円 (△48.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第2四半期	27.42	—
2021年4月期第2四半期	9.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年4月期第2四半期	35,833	28,638	79.9	1,077.03
2021年4月期	35,318	28,187	79.8	1,060.38

(参考) 自己資本 2022年4月期第2四半期 28,638万円 2021年4月期 28,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2022年4月期	—	9.00	—	—	—
2022年4月期（予想）	—	—	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年4月期の連結業績予想（2021年5月1日～2022年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,667	4.4	1,463	32.1	1,495	17.6	1,000	△14.1	37.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年4月期2Q	26,788,748株	2021年4月期	26,788,748株
2022年4月期2Q	198,819株	2021年4月期	205,886株
2022年4月期2Q	26,585,743株	2021年4月期2Q	26,578,566株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は2021年12月6日（月）に機関投資家及びアナリスト向けWEB決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年5月1日～2021年10月31日)におけるわが国経済は、7月下旬から新型コロナウイルス感染症の変異株への感染者が急増し、緊急事態宣言等の対象地域の拡大により再び人流が抑制されるなど、依然として厳しい状況となりました。その後、10月には緊急事態宣言等の全面解除やワクチン接種の広がりを受けて、各種政策の効果などを背景に景気は持ち直しの動きが見られるものの、今後の感染再拡大の懸念は拭えず先行き不透明な状況が続いております。

中食・惣菜業界におきましては、コロナ禍による生活者の消費行動の変化を受けてデジタルを活用したサービスが多様化し、テイクアウトやフードデリバリー、オンラインショップ等の需要が定着した結果、食品スーパーやコンビニエンスストアといった従来からの競合に加え、外食企業や飲食店など業態の垣根を越えた競争がますます激化しております。

このような状況の中、当社グループは「The Mirai Salad Company」として、健康で豊かな食卓提案を通してお客様の豊かなライフスタイルの創造に貢献するために、より高品質で季節感あふれるサラダを一層進化させるとともに、これまで培ってきた調理技術を活かした料理・冷凍食品の強化に取り組んでまいりました。また、会員サイト「ロック・フィールドメンバーズ」におけるWEB予約商品の拡充やオンラインショップの機能改良とともに、当社の出店する百貨店・駅ビル等の商業施設が推進するモバイルオーダーやデリバリーの導入など、デジタルを活用したお客様の利便性向上に取り組みました。併せて、持続可能な社会の実現に向けて「環境」「健康」「共創」を当社の事業における重点領域と定め、地球温暖化等の環境問題、お客様と従業員の健康、地域社会やお取引先との共創、それらを支える経営基盤の強化を重点課題として掲げ、全社的な体制で取り組みを推進しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は22,926百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は1,075百万円(前年同期比478.4%増)、経常利益は1,094百万円(前年同期比226.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は728百万円(前年同期比180.4%増)となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		2021年4月期 第2四半期(連結)		2022年4月期 第2四半期(連結)		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
RF1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	7,192	34.8	8,040	35.1	111.8
	フライ	2,633	12.7	2,654	11.6	100.8
	その他そうざい	3,188	15.4	3,542	15.4	111.1
	小計	13,014	62.9	14,237	62.1	109.4
グリーン・グルメ		3,924	19.0	4,521	19.7	115.2
いとはん		1,495	7.2	1,581	6.9	105.7
神戸コロッケ		1,144	5.5	1,203	5.3	105.2
融合		413	2.0	485	2.1	117.4
ベジテリア		385	1.9	370	1.6	96.0
その他		320	1.5	526	2.3	164.2
合計		20,698	100.0	22,926	100.0	110.8

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて515百万円増加し、35,833百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加292百万円、売掛金の増加676百万円、有形固定資産の減少246百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて65百万円増加し、7,195百万円となりました。これは主に、買掛金の増加80百万円等による流動負債の増加337百万円及び長期借入金の減少270百万円等による固定負債の減少272百万円によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて450百万円増加し、28,638百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加728百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少292百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は79.9%、1株当たり純資産額は1,077円03銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月3日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,418	13,710
売掛金	3,506	4,182
製品	58	54
仕掛品	108	186
原材料及び貯蔵品	571	514
その他	443	214
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	18,103	18,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,959	9,802
土地	2,948	2,948
その他(純額)	2,549	2,460
有形固定資産合計	15,457	15,210
無形固定資産		
その他	168	183
無形固定資産合計	168	183
投資その他の資産		
その他	1,612	1,603
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,589	1,580
固定資産合計	17,214	16,974
資産合計	35,318	35,833
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,091	1,171
1年内返済予定の長期借入金	540	540
未払法人税等	479	467
賞与引当金	635	559
その他	2,405	2,750
流動負債合計	5,152	5,490
固定負債		
長期借入金	1,580	1,310
その他	397	395
固定負債合計	1,977	1,705
負債合計	7,130	7,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,874	5,878
利益剰余金	16,840	17,276
自己株式	△190	△183
株主資本合計	28,068	28,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	63
為替換算調整勘定	56	59
その他の包括利益累計額合計	119	122
純資産合計	28,187	28,638
負債純資産合計	35,318	35,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)
売上高	20,698	22,926
売上原価	8,692	9,585
売上総利益	12,006	13,341
販売費及び一般管理費	11,819	12,265
営業利益	186	1,075
営業外収益		
受取配当金	4	4
保険配当金	15	11
雇用調整助成金	122	—
その他	16	10
営業外収益合計	159	26
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産売却損	2	—
解約違約金	—	1
その他	1	1
営業外費用合計	9	7
経常利益	335	1,094
特別損失		
減損損失	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益	323	1,094
法人税等	63	365
四半期純利益	259	728
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	259	728

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	259	728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	0
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益合計	△10	3
四半期包括利益	249	732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	323	1,094
減価償却費	806	827
賞与引当金の増減額 (△は減少)	55	△75
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	5	4
減損損失	11	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,110	△675
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△75	△16
仕入債務の増減額 (△は減少)	524	79
その他	548	584
小計	85	1,819
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額	△9	△364
法人税等の還付額	320	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	394	1,454
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△2,145	△381
有形固定資産の売却による収入	3	—
無形固定資産の取得による支出	△5	△28
長期前払費用の取得による支出	△57	△61
差入保証金の差入による支出	△13	△3
差入保証金の回収による収入	17	7
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,220	△487
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△270	△270
リース債務の返済による支出	△182	△134
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△609	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62	△697
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,887	272
現金及び現金同等物の期首残高	13,483	13,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,595	13,290

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来販売費及び一般管理費として計上しておりました他社ポイント負担金については、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第2四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費についてはそれぞれ9百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りに用いた仮定について重要な変更はありません。